



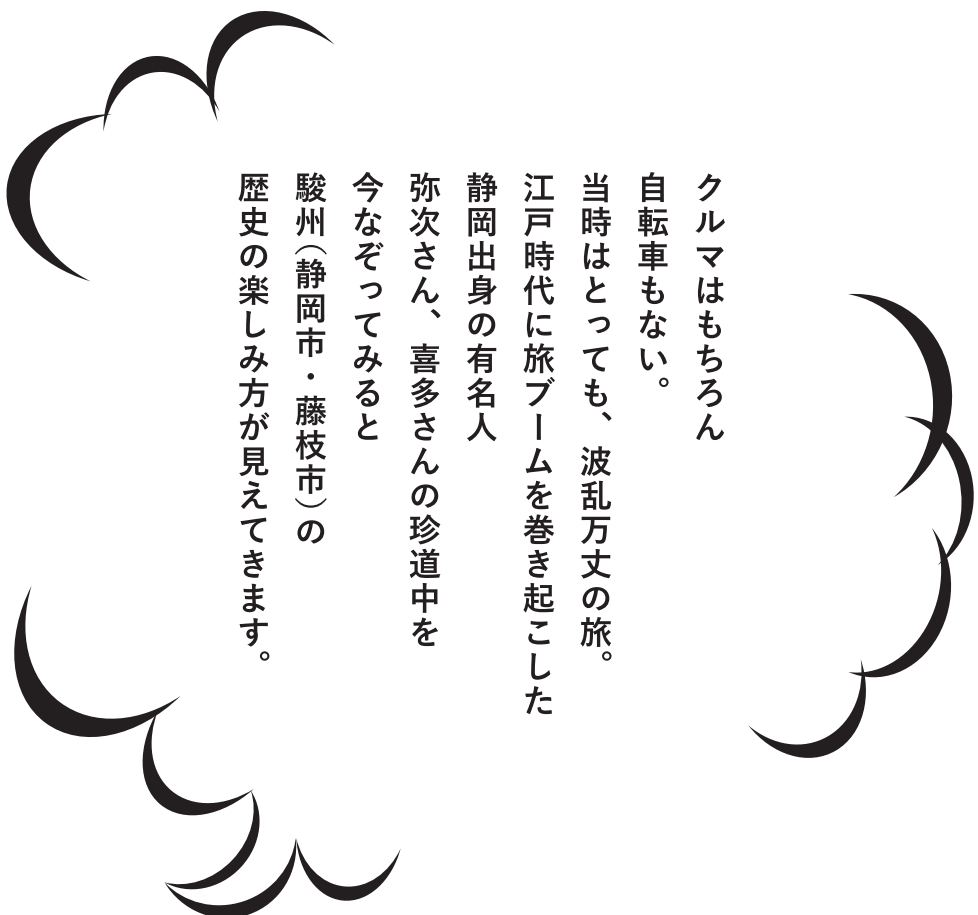
SUNSHU *Journal*

あらためまして東海道 あらためまして駿州の旅



弥次さん喜多さんの足跡をなぞると、新たな東海道 駿州の旅が見えてくる。

Learning from the past.



クルマはもちろん
自転車もない。

当時はとっても、波乱万丈の旅。

江戸時代に旅ブームを巻き起こした

静岡出身の有名人

弥次さん、喜多さんの珍道中を

今なぞってみると

駿州（静岡市・藤枝市）の

歴史の楽しみ方が見えてきます。

SUNSHU *Journal*

CONTENTS

P04 静岡生まれ？弥次さん喜多さん

P06 二峠八宿？駿州ってどこ？

P08 レトロな街並み残る蒲原宿

P10 ここはやっぱり海の幸、由比宿

P12 広重の描いた絶景の富士、薩埵峠

P14 情緒ただよう、ゆったり興津宿

P16 潮風を満喫、話題いっぱいの江尻宿

P18 江戸から続く静岡のお街、府中宿

P20 伝統とモダンの融合、丸子宿

P22 激レア癒しスポット、宇津ノ谷峠

P24 山越えひとときのオアシス岡部宿

P26 東と西を繋ぎ続ける、藤枝宿

P28 駿州の旅・エリアマップ

P30 スマホで駿州の旅を満喫

SUNSHU *Journal*

あらためまして東海道 あらためまして駿州の旅

腹減ったな。
早く海が
見てゝな。

駿の細道

静岡生まれ？ 弥次さん、喜多さん



喜多八

(通称：喜多さん)

出発当時数えで30歳(満29歳)の江尻宿(清水区)出身。弥次郎兵衛の居候。弥次郎兵衛とともに江戸にある商家に使用人として奉公したが、使い込みをした上に、女主人に言い寄ろうとして嫌われ、解雇されて行き場を失い、弥次さんと旅立つ。



枳面屋弥次郎兵衛

(通称：弥次さん)

駿河国府中(現・静岡市)出身、実家は裕福な商家。東海道の旅に出発当時数えで50歳(満49歳)。遊蕩が過ぎて作った借金が多めで江戸に夜逃げし「借金は富士の山ほどある故に、そこで夜逃を駿河者かな」と身の上を詠んでいる。

江戸時代の名作、旅のバイブル

「東海道中膝栗毛」の主人公

弥次さん、喜多さんは

なんと静岡出身なんですよ。

時は江戸時代、一八〇二年に出版され、瞬く間に空前のベストセラーとなった滑稽本「東海道中膝栗毛」の作者・十返舎一九は、府中(現在の静岡市・両替町)の生まれ。

そしてその「東海道中膝栗毛」の主人公、弥次さんは府中(静岡市葵区)出身、喜多さんは江尻(静岡市清水区)出身という設定なんです。

つまり作者も主人公も静岡生まれという物語。物語は、仕事を解雇されたり奥さんが亡くなったりと散々だった二人が出会い、江戸から大阪へと旅する珍道中が描かれています。

宿場ごとの名所・旧跡、名物なども描かれていて、江戸時代の旅を記録する貴重な資料にもなっています。

物語では江戸下町の神田八丁堀で長屋住まいをしていた弥次郎兵衛(弥次さん)と喜多八(喜多さん)が、二人揃って旅に出る算段を企てます。目指すはお伊勢参り、大和(奈良)めぐり、花の都(京都)、梅の花咲く浪花(大阪)。

家財を売り払って得たお金で江戸を発ち、東海道を西へと向かいます。

その道中でたびたび繰り広げられる二人のドタバタ騒動。もちろん駿州でもいろんな騒動を巻き起こしながら、目的の伊勢神宮を参拝し、京都見物を果たし、最後に大阪へ無事に到着することが叶いました。

旅ブームを
起こした二人の
エピソード。

お金ないのに
楽しもうとして
案の定バレル。

弥次喜多道中・蒲原宿

ひどく粗末な宿に泊まった2人でしたが、同じ宿に泊まった娘が気に入った喜多さんは会いに行きます。真っ暗な中で手探りすると、それは娘ではなく宿の婆さんでしたとさ。



絵に描いた
ように間抜けな
喜多さん。

弥次喜多道中・島田宿

川は人足(籠)に担いでもらって渡ります。弥次さん喜多さんはお供に化けて、ちょっと高級な人足を雇おうとします。脇差の鞘袋を後ろに伸ばして、立派な刀に見せ掛けたのですが、その部分が柱に当たって折れ曲がり、やっぱりしっかり化けの皮がはがれてしまいましたとさ。



浮かれて
飲めや歌えの
大宴会を
はじめてしま
う
やっぱり
能天気な二人。

弥次喜多道中・大坂

拾ったくじを当たりくじだと思ひ込み、前祝いの豪遊。ところが翌日お金を受け取りに行くと、くじ番号が違うことがわかり、そのうち前日の請求がきてしまいます。事情を知った宿の主人の寛大な取りなしでなんとか事なきを得る、なんだかんだでいつも救われる弥次さん喜多さんでしたとさ。



静岡出身の弥次さん喜多さんが
起こした日本で初めての「旅ブーム」。
今でも感じられるその「追体験」を
駿州の旅で感じてください。

「東海道中膝栗毛」の弥次さん喜多さんが駿州で巻き起こしたドタバタのエピソード。

その滑稽なストーリーや歌川広重の浮世絵「東海道五十三次」に導かれるように、江戸時代にはお伊勢参りが流行しました。

中でも約60年ごとに起こった大規模なお伊勢参りでは全国で二〇〇万〜三〇〇万人の人が一路伊勢神宮を目指したといわれています。

まさに静岡出身の十返舎一九と弥次さん喜多さんが起こした日本で初めての「旅ブーム」。

令和の今ではいろいろな交通手段で旅を楽しめますが、江戸時代は電車やクルマはもちろんのこと、自転車すらない時代。

そんな旅の行程には、いくつもの難所が待ち受けていました。「箱根八里」で知られる箱根峠の山越え、「越すに越されぬ」と詠われた大井川の川渡し。今となっては想像するだけでも苦行です(笑)。

その時代の東海道は、現在の国道一号線のように東と西を繋ぐ大動脈。当時の人はお伊勢参りの道中で駿州を楽しんでいたのです。

お伊勢さん(伊勢神宮)を目指した旅人たちが必ず立ち寄った駿州。

今でも当時の面影が存分に残っています。

にとうげはっしゅう

二峠八宿？

すんしゅう

駿州って、どこ？



駿州(すんしゅう)の旅は

静岡市と藤枝市の間

二つの大きな峠と

八つの宿場町の物語。

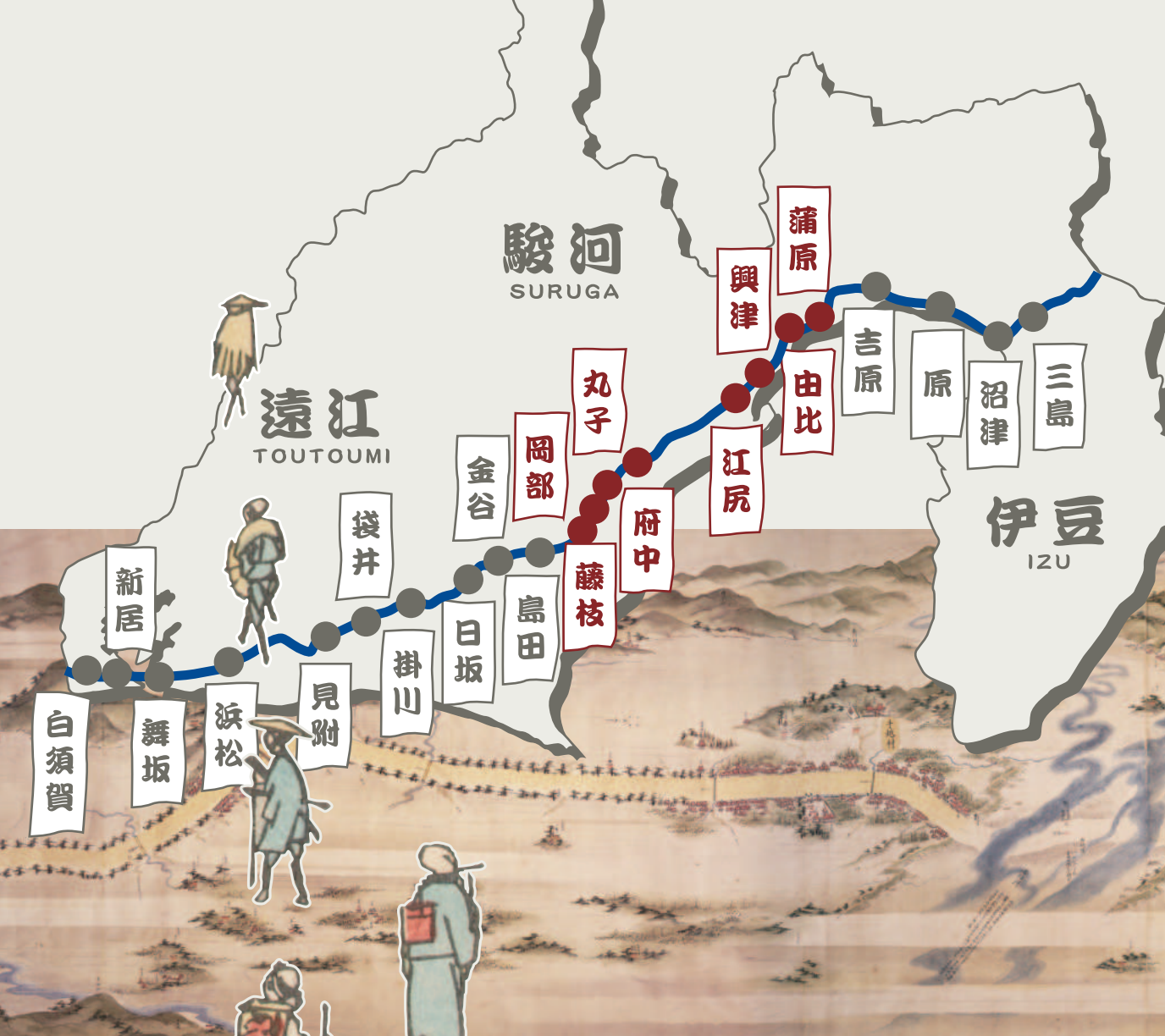
静岡県はとにかく横に長い。東海道五十三次のうちなんと22宿が静岡にあるんです。あの有名な五十三次のストーリーの四割は静岡で生まれているといっても過言ではありません。

その中でもさらに東海道のど真ん中、「駿州(すんしゅう)」は沼津以西、大井川以東の地域。歌川広重の「東海道五十三次」の浮世絵でも描かれているとおり、富士山が最も美しく見える地域と言われています。

蒲原から海沿い由比を進み、清水まで。そこから駿府・静岡市街を通り、峠を越えて岡部と藤枝。海も山もある駿州だからこそその豊かな物語。弥次さん喜多さんはもちろんのこと、当時お伊勢さまを目指した人たちが満喫した駿州。今だからこそ、あらためて。

その道を巡れば、ディープな静岡を感じていただけだと思います。





壮大な水平線と駿河湾、
季節の彩り豊かな山々。
その幸と、お街や下町まで。
そして景色全てに映り込む富士山。
ここ駿州には
日本の旅が凝縮されています。

江戸時代の富士山は全ての生命の発祥の源として手厚く敬われてきました。
七転八倒のお伊勢参りの道中で、富士山と海そのどちらも堪能できたのはまさにここ駿州。
その合間に家康公が設えた府中のお街や、海の道と山の道の結節点として多くの旅人で賑わった藤枝。
江戸時代の旅人が日本の旅をはじめて満喫した地なのではないでしょうか。

いざ！駿州の旅へ

蒲原宿



01 江戸時代に大名などの位の高い人の宿泊施設であった蒲原宿西本陣跡
静岡市清水区蒲原3-17-27

Watch!

弥次喜多珍道中



さて、東海道中膝栗毛では、江戸から長い道のりを進み、蒲原宿へとたどり着いた弥次さんと喜多さん。
本陣では大名一行が到着し配膳の最中。喜多さんはこっそり本陣に忍び込み、一行に紛れてたらふくご飯をたいらげると、さらに手拭いにご飯を包み逃げ出しました。
外で待っていた弥次さんは大喜び。
ご飯をすっかりたいらげましたが、喜多さんが鼻をかんだ手拭いだと気が付くと、べっぺつと吐くマネをする弥次さんなのでした。

蒲原宿は、全長約1.2km、人口約二四〇〇人程の東海道15番目の宿場町でした。高波により一七〇一年に現在の位置に宿場を移してから、その町割りはず変わらず残っています。
県内でも唯一「歴史国道」として認定された宿場町で、レトロな街並みが現在も残り、なまこ壁や特徴的なお屋敷、和洋折衷の大正モダン建築など、見所満載のエリアです。

歴史国道と認定された
旧東海道のレトロな街並みは
喜多さんが出会った
大名行列が留まるほどの哀愁。



東海道は
五十七次だった!
江戸時代の
暮らしぶりを伝える!

03 志田邸・東海道町民生活歴史館

安政の大地震直後に再建された商家で、間口が狭く奥まで土間が通じる典型的な町家建築です。志田邸で使われてきた江戸～昭和前期までの生活関連品などを展示するとともに幕府が作成した絵地図等の記録を紹介しています。

静岡市清水区蒲原3-19-28 ☎ 054-385-7557 10:00～15:00
 ㊿ 月～金曜・お盆・年末年始
 ㊿ 無料(特別展示は大人300円、小・中学生100円)



02 旧和泉屋 (お休み処)

江戸時代に「和泉屋」の屋号で旅館として使われていました。天保年間(1830年～44年)に建てられ、安政の大地震でも倒壊を免れました。二階のくし型の手すりは天保年間当時のまま残っています。平成18年に国登録有形文化財になりました。

静岡市清水区蒲原3-25-3 ☎ 054-385-7111 ㊿ 無料
 9:30～16:30(11月～2月は16:00まで) ㊿ 月曜(祝日の場合は翌平日)
 祝日の翌日(土曜、日曜除く)、年末年始(12/26～1/5)



田中光顕の
影響を受けた
独創的な
日本庭園。

05 旧岩邊邸 (木下邸)

安政5年(1858年)に建造された建物で国登録有形文化財に登録されています。主屋は樫の大黒柱、樫の上がり框など材の大きさと造りが際立つ町家建築です。明治期当主であった岩辺弥之助は田中光顕と親交が深くその影響を受けた独創的な庭園や離れた家屋も見所で、その魅力から外国旅行者の立寄所として多くの観光客を受け入れてきました。

静岡市清水区清水区蒲原1-17-26 見学申込は「旧岩邊邸を楽しむ会」へ
 お問い合わせ ☎ 090-5607-6038 ※旧岩邊邸を楽しむ会(代表:稲葉)



指定文化財か:
眺めるだけでは
もったいない。

04 木屋江戸資料館 (渡邊家土蔵)

渡邊家に現在も残る土蔵で、1839年に建築されました。三階建ての土蔵は珍しく四方ころびという耐震性に優れた技法で建築されています。土蔵には江戸時代の歴史・芸術・民族・交通等の渡邊家に代々受け継がれてきた貴重な資料が残されており、文献3002点とともに静岡市指定文化財となっています。

静岡市清水区蒲原2-2-30 ☎ 054-385-3441
 ※在宅であれば対応いたします。お問い合わせください
 ※雨天時は開放しておりません



モダンな
レトロな
美しい。

06 旧五十嵐歯科医院

大正期以前に町家建築として建てられ、1914年に当主が歯科医院を開業する際、町家を洋風に改築した建物です。外観は洋風、内観は和風というユニークな点が評価され、国登録有形文化財に登録されています。

静岡市清水区蒲原3-23-3 ☎ 054-385-2023
 9:30～16:30(11月～2月は16:00まで)
 ㊿ 無料 ㊿ 月曜(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日(土曜、日曜除く)年末年始(12/26～1/5)

由比宿



07 江戸時代のたたずまいを彷彿とさせる、見どころいっぱいの由比本陣跡（由比本陣公園）
静岡市清水区由比297-1

Watch!

弥次喜多珍道中



由比宿を歩く弥次さん喜多さんに両側から茶屋の売り子たちがやかましく呼びかけました。名物の甘いさとう餅だの、しょっぱい食べ物もあるだの、あまりにも高い声でうるさい売り子たちだったので、逃げるように由比宿を抜けていったのでした。



ここはやっぱり、海の幸。
桜えびの街、由比へ
冒険に出かけたら。

由比宿は、静岡県内22の宿場の中で最も小さく人口七〇〇人程の東海道16番目の宿場町でした。現在、その中央には本陣跡地として由比本陣公園が整備され、表門・石垣・木塀・物見櫓・馬の水飲み場などが復元され江戸時代の面影を感じることが出来ます。今は商店街に出ると桜えびのアーチがお出迎え。漁港の入り口にも桜えびのモニュメント。いたるところに桜えびが現れるのは、全国的にも知られる、美味しい桜えびが獲れる街だからです。多くの観光客も訪れるここ由比には、結（ゆい）の心が根付いています。



庭を眺め、
茶を味わう。
なんと贅沢な時間。

09 御幸亭 (由比本陣公園内)

明治天皇が御小休された離れ座敷で由比本陣公園内に復元されています。「結仁斎」と呼ばれる茶室があり、江戸時代の代表的な作庭家小堀遠州作といわれる庭園が眺められます。

静岡市清水区由比297-1 ☎ 054-375-5166
9:00～17:00 (最終入館 16:30)
㊤ 大人150円、小・中学生50円 (煎茶サービス付)



版画摺り体験も
できるとは！

08 静岡市東海道広重美術館

浮世絵師・歌川広重の名を冠した、日本で最初的美術館です。広重の代表作である「東海道五拾三次之内」や、晩年の傑作「名所江戸百景」など、風景版画の名品を中心とした約1,400点の収蔵品により、バラエティーに富んだ企画展を開催しています。

静岡市清水区由比297-1 (本陣公園内) ☎ 054-375-4454 9:00～17:00 (最終入館 16:30)
㊤ 月曜 (祝日の場合は翌平日)、年末年始 (12/28～1/4)
㊤ 大人520円、高・大学生310円、小・中学生130円

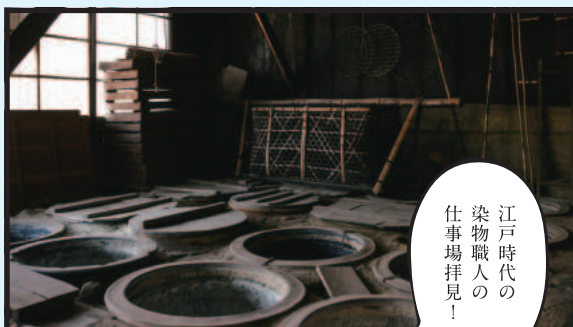


ふ・次・喜・多・が
弥・次・喜・多・が
お・餅・逃・し・た
食・べ・たい。

10 由比宿名物 たまご餅

江戸時代から続く由比宿名物で東海道中膝栗毛では「名物さとう餅」という名前で登場します。弥次さん喜多さんも茶屋の女性から呼び込みを受けましたが、なぜか通り過ぎたといいます。江戸時代からの伝統を守りうるち米を使い、その姿からたまご餅と呼ばれるように。現在は、1926年創業の春埜製菓で購入することができます。

春埜製菓 静岡市清水区由比北田92 ☎ 054-375-2310
8:00～18:00 ㊤ 月曜 (祝日の場合は翌日)



江戸時代の
染物職人の
仕事場拝見！

12 正雪紺屋 (伝正雪生家)

約400年続く染物屋で、兵学者・由井正雪の生家と伝えられています。染料をためておく藍甕や神棚、染物道具や仕事場が当時のまま残されており、てぬぐいやガーゼタオル等の小物も販売しています。

静岡市清水区由比68 ☎ 054-375-2375 9:00～17:00
(個人宅のため見学できない場合があります)



港・地場・イ・コ・ル
の・プ・ラ・ス
を・見・る

11 由比・むつみ市場

由比ならではの地場産品を扱うお店です。桜えびや練り製品、地酒、缶詰などの特産品が揃っています。毎月1回、由比漁港で水揚げされた魚の詰め放題イベントが開催されています。

静岡市清水区由比町屋原120 ☎ 054-377-1005
9:00～17:00 (但し、土曜日は11時～14時) ㊤ 日曜・祝日

薩埵峠



13 東海道最大難所の一つで、屈指の絶景スポット「薩埵峠」

Watch!

弥次喜多珍道中



薩埵峠に入った弥次さんと喜多さん。
此所からは富士の山が正面に見えると
喜びます。
ところが残念！弥次さん喜多さんの薩
埵峠越えは、激しい雨に見舞われ富士
山は全く見えなかったのです。

日本の絶景に
必ず描かれた富士。
険しい峠を抜けた時
駿河湾に浮かぶ富士を覗める。
江戸時代より薩埵峠は、この道を往来した人々
の目と心に、その絶景を焼き付けてきた名所
でした。雄大な富士山と吸い込まれそうな青の駿
河湾は、今も昔も変わりなくここにあり続けま
す。歌川広重の「東海道五拾三次之内 由井 薩埵嶺」
にも描かれており、浮世絵に描かれた風景を現
在も楽しむことができます。峠のふもとには、
旅人たちが休憩をとるための茶屋が置かれて
いた間の宿西倉沢があり、今も随所に往時の面
影を感じることができます。



今も残る
風情が
とっても
沁みる。

14 間の宿 西倉沢

由比宿と興津宿の間にあり、薩埵峠の東側の登り口です。富士山や駿河湾の眺めがよく、難所越えの前に旅人が一息入れる場所として、茶屋が繁盛しました。東海道の膝栗毛では、アワビやサザエが名物と紹介されており、弥次さん喜多さんが足を休め「こともに 売るはさぎゑの壺焼や 見どころ多き倉沢の宿」と称した場所です。



漫画「美味しんぼ」
にも登場した名店
それだけで
美味しい確定。

16 くらさわや

国産の桜えびは駿河湾でしか獲れず、そのほとんどが由比で水揚げされます。くらさわやは、かき揚げや釜めしなど新鮮な桜えびが味わえます。江戸時代の倉沢名物さざえやあわびも提供しています。

静岡市清水区由比東倉澤69-1 ☎ 054-375-2454
11:00～15:00(LO 14:00) / 17:00～20:00(LO 19:00)
㊿ 月曜(祝日の場合は翌日)



盛り上がる目地が
ナマコに似てる
なまこ壁。

15 東海道名主の館 小池邸

小池家は代々名主の役割を担っていました。現在の建物は明治期に建てられたもので、格子やなまこ壁が昔ながらの風情を感じさせます。

静岡市清水区由比寺尾464-9 ☎ 054-376-0611 ㊿ 無料
9:30～16:30(11月～2月は16:00まで) ㊿ 月曜(祝日の場合は翌平日)、祝日の翌日(土曜、日曜除く)、年末年始(12/26～1/5)

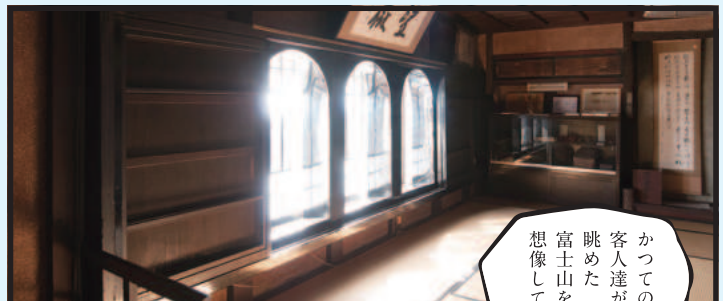


あるのが当たり前の
あかりも、今また
見つめ直せるかも。

18 由比宿東海道あかりの博物館

大正時代から昭和期を中心に、古灯具から照明器具など1000点以上の展示が行われています。

静岡市清水区由比寺尾473-8 ☎ 054-375-6824
10:00～15:00 ㊿ 月曜(祝日の場合は翌日)
㊿ 大人500円、小・中学生200円
※父兄同伴の場合は中学生以下無料



かつての
客入達が
眺めた
富士山を
想像して。

17 望嶽亭藤屋

薩埵峠の東の麓にあり、間の宿、脇本陣・茶屋として多くの文人墨客で賑わいました。離れ座敷からの富士山の眺めが格別なことから「望嶽亭」という名に。山岡鉄舟が官軍に追われた際に、望嶽亭の蔵屋敷で変装し隠し階段から脱出したといわれ、その際に残したフランス製のピストルが歴史を物語っています。

静岡市清水区由比西倉澤84-1 ☎ 054-375-3486 9:00～15:00
個人宅のため不定休(要事前連絡)

興津宿



19 徳川家康公ともゆかり深い、風光明媚な東海道屈指の名刹「清見寺」
静岡市清水区興津清見寺町418-1

Watch!

弥次喜多珍道中



興津宿に着いても雨は止まず、くたびれた弥次さん喜多さんは、少し休もうとあやしげな茶屋に立ち寄ります。店主にきな粉団子を3本注文して、近くにいた女の子にあげようとする「米ぬかを付けた団子はいらない」と言われる始末。ぬかを付けた団子だったと知った弥次さんは、残りの団子を全部犬にあげると、まずいものにお金を払ってしまい、もったいないことをしたとがっくり肩を落とすのでした。

徳川家ゆかりの寺院も多く、昔ながらの雰囲気が残る興津宿は、全長約1.2km、人口一六〇〇人程の東海道17番目の宿場町でした。東からの旅人は薩埵峠を越えて一息つける場所であり、西からの旅人は薩埵峠を越えるための準備をする場所でした。興津宿は東海道はもちろんのこと興津川にそって身延道（現在は山梨県へ向かう道。別名で「塩の道」もあり、江戸時代の交通の要衝となっていました）。

徳川家ゆかりの寺院も多く
昔ながらの雰囲気がある興津宿。
歩いているだけで
ゆったりとした気分になれる場所。



街道に
うまいものあり。
こだわりの割烹料理

21 東海道興津宿 岡屋

江戸時代には多くの旅籠があった興津宿。現在も当時の風情を感じさせる旅館です。家康公が好んで食べたと言われる興津宿の名物「興津鯛の姿焼き」を冬から春先の限定メニューで提供しています。

静岡市清水区興津本町6 ☎ 054-369-0018



最後の元老
西園寺さんの
別荘とは・・

20 興津坐漁荘 (おきつざぎょそう)

坐漁荘は明治・大正・昭和にわたる大物政治家・西園寺公望公の別荘で、政府関係者が相談に訪れ「興津詣で」と呼ばれていました。現在の建物は2004年に復元されたものですが、優れた職人の技術で忠実に再現されています。

静岡市清水区興津清見寺町115 ☎ 054-369-2221 ㊤ 無料
10:00~17:00(土日は9:30~17:30) ㊦ 月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始

22 宮様まんぢう本舗 潮屋

明治30年創業の和菓子の老舗。創業当時から継承された自家製酒種で製造されている「宮様まんぢう」はほんのりとお酒の香りがする銘菓です。

静岡市清水区興津本町27-1 ☎ 054-369-0348
8:00~18:30 ㊦ 火曜

興津は
実は
あんこの
ふるさと



あんこと
生クリームの
出会い！
最高です!!

24 ふなじ うしほ屋

大正5年創業。フレッシュな生クリームと上品な甘さの粒あんをたっぷり挟んだ「なまどらきんととき」が人気。

静岡市清水区興津中町385-9 ☎ 054-369-0341 9:00~19:00
㊦ 月曜



海の宿として
外国人にも人気
だった水口屋。

23 水口屋ギャラリー

水口屋は興津宿脇本陣の跡地で、明治時代以降は政治家や皇族、財界人等の別荘旅館として愛されていました。昭和60年に旅館は廃業しましたが、現在はギャラリーとして代々水口屋に受け継がれてきた貴重な資料が展示されています。

静岡市清水区興津本町36 ☎ 054-369-6101 10:00~16:00
㊦ 月曜・年末年始(12/28~1/3) ㊤ 無料

江尻宿



東海道五十三次の名物として300年の伝統を持つ追分羊かん

Watch!

弥次喜多珍道中

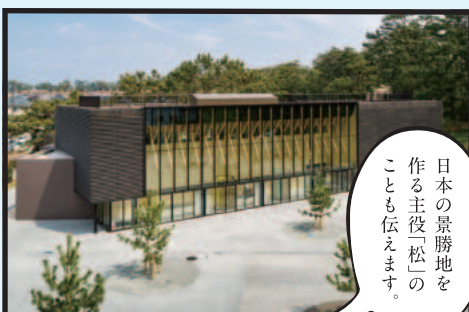


興津宿で団子を残らず犬にやってしまった二人は、雨の中だとぼとぼと無言の行進。その雨は江尻宿に着く頃には上がり、自然と足取りも軽くなっています。

馬子(馬を引き荷物を運ぶ人)との会話も弾むものの、やがてその気持ちの良さに馬上で空いびきをかき始め、気づいた頃には府中宿に到着してしまうのでした。

今も昔も話題がいっぱい
港の風情。
潮風を感じながら
美味しい魚を堪能できる町。
常にポテンシャル高い江尻宿。

江尻宿は、人口約六五〇〇人、本陣は2件、脇本陣3件、旅籠が50件と規模の大きい宿場で、巴川の河口を利用した清水港は江戸への海運の重要な拠点でした。江尻とは、巴川の尻(下流)を示し、巴川がつくる砂洲上にできた宿です。現在は地元の人や観光客で賑わう異国情緒あふれたベイサイドに。海を見ながらのんびり夜まで過ごしたら、昼とはまた違う街の顔を発見できます。



日本の景勝地を
作る主役「松」の
ことも伝えます。

26 静岡市三保松原文化創造センター みほしるべ

国の名勝であり、世界文化遺産「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」の構成資産である三保松原の価値や魅力、松原の保全の大切さを映像や展示で伝える施設。

静岡市清水区三保1338-45 ☎ 054-340-2100 年中無休
9:00～16:30 ㊿ 無料



なんと夜間は
幻想的な
ライトアップ!!

25 御穂神社・神の道

平安時代の書物に記録が残されている古社で、羽衣伝説ゆかりの神社。天女の羽衣と伝わる切れ端が所蔵されています。羽衣の松を目印に来臨した神が樹齢300年ほどの約500mの松並木「神の道」を経て御穂神社に迎えられます。

静岡市清水区三保1073



今にも
天女が
舞い降りてきそう。
神秘的な
景観!

27 三保松原

三保松原は羽衣伝説の舞台として古くから人々に親しまれ、富士山とともに様々な芸術を生み出してきました。江戸時代に徳川家康公など歴代将軍によって庇護を受け広重や北斎をはじめ数々の浮世絵師にその景色が描かれてきました。世界文化遺産に登録された「富士山」の構成資産です。

静岡市清水区三保



徳川家御用達
さすが東海道
三百年の味。

29 江尻宿名物 追分羊かん

東海道の名物として300年の伝統を持つ追分羊羹。徳川将軍家光公の時代に箱根山中で倒れた明の僧を介抱した際に教わったことが起源とされ、餡を竹皮で包み、蒸しあげる昔ながらの味を守り続けています。徳川十五代将軍慶喜公にも好まれていました。

静岡市清水区追分2-13-21 ☎ 054-366-3257 8:30～16:30 ㊿ 日曜



食べたらかかる!!
巴川の河童伝説・

28 甘静舎

創業1781年の江尻宿の老舗。河童伝説で知られる稚児橋の近くにあることから「河童まんじゅう」が人気の和菓子屋です。

静岡市清水区江尻町4-26 ☎ 054-366-5235
10:00～18:00 ㊿ 水曜

府中宿



30 古くから信仰を集め「おせんげんさん」という名で親しまれている静岡浅間神社。廿日会祭の稚児舞楽(重要無形民俗文化財)で舞われる安摩の二の舞(通称ズジャンコ)で使用される面は、「東海道中膝栗毛」に「浅間様のあまの面」として登場する。 静岡市葵区宮ヶ崎町102-1

Watch!

弥次喜多珍道中



弥次さんの故郷・府中宿、知人のところで金を工面した二人は飲めや歌えの大騒ぎ。安倍川の手前の茶屋で名物の安倍川餅をすすめられる場面も。
安倍川では川越人足に声を掛けられ、とにかく川が荒れていると脅される。なんとか渡り切った二人は賃金とさらにはチップも渡すのだが、川越人足は金を受け取ると川上の浅い方をさっさと渡って帰るのでした。

ザ・お街。
**江戸情緒が漂う街中で
史跡や名所を再発見。**
駿府城の城下町として栄えた東海道最大規模の宿場「府中宿」。本陣は上伝馬、下伝馬にそれぞれ1軒、旅籠が43軒ありました。家康公大御所時代の慶長14年(一六〇九年)に駿府の町割りと呼ばれる城下町整備が行われました。
碁盤目状に整備された町割りごとに同じ機能、職種が集められ、それぞれの役割を果たしていました。
九十六は町を区画に分けた数でこの家康公が整備したと伝わるものを「九十六ヶ町」といいます。今も三十町程度の町名がそのまま使われているとともに、美しく碁盤目状に整備された街並みは、現代の市街地整備の土台となっています。



静岡の
貴重な歴史資料を
多数展示！

33 静岡市歴史博物館

静岡で育まれた大切な歴史を発信する施設として、令和5年1月にオープン。1階では戦国末期の道と石垣の遺構を状態のまま公開し、2階3階では静岡にゆかりのある天下人徳川家康の一生や、長く静岡を治めた今川氏のすべてがわかる展示、また、近世・近現代の静岡の発展を、数多くの資料や音や映像による体感展示で紹介します。また、静岡市の歴史文化を堪能できるイベントやまちあるきツアーなども開催し、多くの人が様々な形で楽しめる博物館です。

静岡市葵区追手町4-16 ☎054-204-1005
9:00～18:00(展示室入場は閉館30分前まで)
⑧月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/29～1/3)
⑨基本展示:大人600円、高・大学生420円、小・中学生150円
企画展開催中は別途料金設定があります。



家康公が
名付け親。
静岡みやげの
代名詞！

31 府中宿名物 安倍川もち

府中宿に古くから伝わる名物。つきたての餅にきな粉をまぶし、白砂糖をかけたお菓子です。江戸初期に徳川家康公が茶店に立ち寄った際に店主がきな粉を砂金に見立て、安倍川の金な粉餅として献上したといわれています。



重厚な
石垣を
ゆったり
眺めて。

32 葵舟

駿府城公園の二ノ丸堀を遊覧できる舟。北御門から出発し、40分かけて1周します。約400年前に築かれた石垣や印された刻印を間近に見ることができ駿府城の歴史の面影を感じることができます。

静岡市葵区駿府城公園1-1北御門
☎0120-152-881 9:00～16:30
営業日:土・日・祝日
⑩中学生以上1200円(12月～2月800円)、小学生以下600円(12月～2月400円)



写真映え
間違いなしの
間違った
坤櫓



体験展示を通じて
駿府城の
東御門・異櫓
の凄さがわかる

34 駿府城公園

徳川家康公が築城した駿府城。晩年も「大御所」として天下の実権を掌握し、駿府は江戸を凌ぐ政治・経済・文化の中心としてその黄金時代を迎えたと言われています。本丸、二ノ丸部分は、駿府城公園として整備され、今も静岡市民の憩いの場として親しまれています。

坤櫓は、駿府城二ノ丸の南西に位置する櫓で、伝統的な木造建築を用いて忠実に復元されています。櫓周辺の発掘調査で発見された瓦などを展示しているほか、復元工事の様子を映像で紹介しています。

東御門・異櫓は駿府城二ノ丸の当時の姿を再現するため、伝統工法により復元されました。内部は2021年にリニューアルされ、築城以前のルーツ、徳川家康公による築城から廃城、現在に至るまで、駿府城の一生をたどる展示を行っています。

静岡市葵区駿府城公園1-1 9:00～16:30(入館は16:00まで)
⑧月曜(祝日営業)、年末年始(12/29～1/3) ☎054-251-0016
坤櫓:⑩大人100円、小人50円/東御門・異櫓:⑩大人200円、小人50円
紅葉山庭園:⑩大人150円、小人50円

丸子宿



35 弥次さん喜多さんが惜しくも食べられなかった「とろろ汁」は丸子の名物料理
そのため、歌川広重は自身の浮世絵の中で弥次さん喜多さんを描き、とろろ汁を食べさせてあげたと言われている。

Watch!

弥次喜多珍道中



丸子宿に辿り着いた弥次さん喜多さんは名物のとろろ汁を注文します。
ところが、段取りの悪い女房にとろろ汁屋の亭主が怒り夫婦喧嘩が始まってしまいます。とろろ汁がとびかい、夫婦もすべりこける。あっちへすべり、こっちへころげて大騒ぎ。なだめに来た向かいのおかみさんまでも巻き込み3人ともとろろだらけに。弥次さん喜多さんは可笑しさに耐えかねて、たまらず店を後にします。結局名物とろろ汁は食べられず終いとなったのでした。

東海道20番目の丸子宿は、人口八〇〇人程で県内でも由比宿と並んで、もっとも小さな規模の宿場でした。宿内に住む人は、小さな畑を耕し、安倍川の川越しや木綿の生産で生計を立てていました。安倍川と宇津ノ谷峠の間にある丸子宿では、当時から「とろろ汁」が有名で、それを目当てに難所越えを頑張る旅人も多かったそう。今もその当時のエネルギーを受け継いで、新しいムーブメントが生まれ、情緒ある街並みと融合しながら活気をもたらししています。

五十三次に描かれる伝統と
今なお溢れ出すモダンが
互いに馴染んで
オシャレに融合する街。



浮世絵そっくり。
今も昔も
心の風景。

36 とろろ汁の丁子屋

江戸時代より続いている丸子宿名物とろろ汁の老舗。慶長元年(1596年)の創業で歌川広重の浮世絵「東海道五拾三次之内 鞠子 名物茶店」としても描かれています。現在の店舗は浮世絵に描かれた風景を再現するために江戸初期の古民家を現在の場所に移築したもので、2022年に国登録有形文化財になりました。静岡県内で現存する最古の飲食店とされています。

静岡県駿河区丸子七丁目10-10 ☎ 054-258-1066
月～金・11:00～14:00/土日祝・11:00～15:00 16:30～19:00
㊿ 毎週木曜、毎月末のみ水曜



実は竹林から覗く
月が美しいとか。
夜の丸子もアリ。

38 吐月峰柴屋寺

今川氏に仕えた連歌師宗長ゆかりの寺。庭園は京都の東山を模したといわれ、国の名勝・史跡に指定されています。

静岡県駿河区丸子3316 ☎ 054-259-3686 9:00～17:00
無休 ㊿ 大人300円/小人200円



いろんな
体験があるから
やみつきに
なってしまう。

37 工芸体験施設 駿府の工房 匠宿

「歴史と未来を結ぶ場所」をコンセプトに、今川・徳川時代から受け継がれた静岡の伝統工芸の技と、その豊かな体験を楽しめるスポット。各工房では、駿河竹千筋細工・木工・漆・染めもの・陶芸など静岡の伝統工芸を体験できます。

静岡県静岡市駿河区丸子3240-1 ☎ 054-256-1521 10:00～19:00
㊿ 月曜、年末年始



どこを見ても
お地藏さん。
静かに流れる
異世界の空間。

40 大鈿不動尊

大鈿の最奥にある高さ2メートルほどの滝の上に丸子城で武田信玄の守り本尊となっていた愛宕山大権現のお堂と不動明王堂があります。滝の周囲に300体以上の地藏が並び幻想的な景色となっています。毎月28日に朝市が開催され多くの人で賑わいます。

静岡県駿河区丸子大鈿



山芋の芽
むかご。
一体どんな
舌触りか
興味津々。

39 月ヶ瀬 本店

とろろを使った生地でこしあんを巻き、山芋の芽むかごをいれた「むかごろう」や「とろろ饅頭」など、丸子の素材を使ったお菓子を販売。

静岡県駿河区丸子2-1-1 ☎ 054-259-1762
9:00～18:00 <http://s-tsukigase.com>
㊿ 不定休(ホームページにてご確認ください)

宇津ノ谷峠



41 峠の東の麓で、峠越えを目指す場所「間の宿宇津ノ谷」

Watch!

弥次喜多珍道中



弥次さん喜多さんは、こわごわ宇津ノ谷峠を歩きはじめます。
 鳶の細道を心細く行く中、雨はだんだん強くなり、もう少しで旅の安全を願うために作られたという名物十団子を売る茶屋、というところで思わず坂道を滑り転げ腰を打つ始末。
 痛みをこらえ、岡部宿へと向かうのでした。

静岡市と藤枝市の市境にある宇津ノ谷峠は、平安時代の和歌にも詠まれ、歌枕の地としても有名な峠でした。
 かつてはうす暗く、うら寂しい峠道であったため、山賊や追剥ぎが出没し、怪談や喰人鬼伝説の舞台にもなりました。現在も、多くの人や物の往来を支える交通の要衝として、古代から現代における主要な道路6本と4つのトンネルが現存し、時代の流れと共に移り変わる峠道の様子を体感できます。

山の先に、峠の先に
 トンネルの先にある景色。
 今では激レアの
 癒しスポットに。

平安時代の旅人
を
思い浮かべながら
歩くと感慨ひとしお。



43 蕨の細道

宇津ノ谷峠を越える最古のルートで、その歴史は古く奈良、平安時代にまで遡るともいわれています。平安時代の古典文学「伊勢物語」に登場したことで有名になりました。かつては蕨が生い茂る寂しい峠道でしたが、現在はハイキングコースとして散策を楽しむことができます。

静岡市駿河区宇津ノ谷・藤枝市岡部町岡部

あの有名武将も
通った道。
想像するだけで
ワクワク!!



42 東海道宇津ノ谷峠越

豊臣秀吉が小田原攻めの際に蕨の細道では大軍の通行に難があったため、拡張整備したといわれる峠越えの道です。江戸時代には東海道として大名行列などが往来する幹線道路となりました。広重の浮世絵にも登場し、名物十団子を売る峠の茶店の様子などが描かれています。

静岡市駿河区宇津ノ谷・藤枝市岡部町岡部



44 慶龍寺と十団子

厄除けのお守り、十団子!

慶龍寺は峠にあった地蔵堂の延命地蔵尊が祀られているお寺です。その昔、宇津ノ谷峠に出没していた人喰い鬼を地蔵尊が退治したという伝説が伝わり、麓の集落には伝説に由来した「十団子」の風習が残されています。江戸時代には、道中の安全を祈願する名物として峠の茶屋で「十団子」が売られていました。現在は厄除けのお守りとして、8月23・24日の慶龍寺の縁日で販売され、家の軒先などに飾られています。また、峠の西麓にある坂下地蔵堂の縁日でも、十個の団子を串に刺してお供えする風習が残っています。

<慶龍寺> 静岡市駿河区宇津ノ谷729-1 ☎054-259-1309

<坂下地蔵堂> 藤枝市岡部町岡部



47 あげおかべ

藤枝産の茶豆で作った豆腐をこんがり揚げた「あげおかべ」。かつて岡部宿の名物だった「豆腐料理」をオリジナルアレンジで復活させました。

おかべ茶屋

(道の駅宇津ノ谷峠上り・藤枝側)
藤枝市岡部町岡部2190-1

☎ 054-667-5080

46 十団子ストラップ

旅の道中安全を祈願するこのお守りは、慶龍寺の十団子の原型を模したストラップです。

(株)天神屋 宇津ノ谷峠店

(道の駅宇津ノ谷峠下り・静岡側)
静岡市駿河区宇津ノ谷82-2

☎054-256-2545

45 明治のトンネル (明治宇津ノ谷隧道)

明治9年(1876)、日本初の有料トンネルとして開通。明治時代の貴重な建造物として、平成9年(1997)現役のトンネルとしては初めて国の登録有形文化財に登録されました。

静岡市駿河区宇津ノ谷・藤枝市岡部町岡部



レンガ造りの
レトロなトンネル。
ノスタルジックな
雰囲気が出まらない!

岡部宿



弥次さん喜多さんも一服している岡部宿大旅籠柏屋の一階

Watch!

弥次喜多珍道中



降りしきる雨の中、宇津ノ谷峠を超えた弥次さん喜多さんはやっとの思いで岡部宿にたどり着きます。そこで待ち受けていた客引きから大井川が川止めだと聞き、川止めなら仕方ないと二人は岡部宿に宿をとり川が渡れるようになるまで、ゆっくり体を休めるのでした。



峠を抜けたら癒しの岡部。
安息のオアシスは今でもしっかりと残っています。

宇津ノ谷峠のふもとに構える東海道21番目の岡部宿は、南北に約1.5km、人口は約三三〇〇人程で、農業のかたわら旅籠や茶屋が営まれていました。規模は丸子宿と同じくらいの小さな宿場でしたが、とても栄えていたので旅人や幕府の役人、大名も多く利用する宿場でした。旧東海道路沿いには、江戸時代に建てられた旅籠「柏屋」の建物が今も残り、ぶらり歩けば、随所に当時の宿場町の面影を楽しむことができます。

48 岡部宿 大旅籠柏屋

岡部宿を代表する旅籠で、国の登録有形文化財。二度の焼失を経て再建された主屋は、当時の旅籠の様子を見ることができる貴重な歴史資料館となっています。併設する物産館「かしばや」では地場特産品や工芸品のほか、喫茶コーナーで軽食も楽しめます。



藤枝市岡部町岡部817 ☎ 054-667-0018
9:00～17:00(入館は16:30まで)
㊥ 月曜(祝日の場合翌平日)、年末年始
(12/28～1/4) ㊦ 大人300円(中学生以下無料)

地元の老舗酒造とコラボした「初亀大吟醸酒粕アーモンド」がオススメ!



江戸時代末期に建てられた全国的にも貴重な建物!



梁の彫刻
見逃したら
後悔しますよ。

50 十石坂観音堂

岡部宿の東口にある小さな観音堂。室内には細かな装飾が施された2基の厨子が安置されていて、いずれも江戸時代後期の作と考えられています。岡部宿の東口にあるため、東海道を行く多くの旅人がここで道中安全を祈りました。

藤枝市岡部町岡部1176-1 (外観のみ拝観自由)



間取り
フェチには
たまらない。
当時の宿を
想像してみて。

49 岡部宿内野本陣址 (内野本陣史跡広場)

岡部宿にあった2軒の本陣のうちのひとつです。約180年にわたり内野家が営んでいた本陣の跡地で、現在は門塀のほかに当時の建物の間取りが平面表示で再現され、往時の佇まいを感じることができます。

藤枝市岡部町岡部817 ☎ 054-667-0018(岡部宿大旅籠柏屋) ㊦ 無料
9:00～17:00 ㊥ 月曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12/28～1/4)



風雪除けに
植えられた松は
やっばり
東海道のシンボル

52 旧東海道の松並木 (内谷地区)

岡部宿を西に出て、藤枝宿へと向かう街道沿いに残る松並木です。約560mほど続く松並木は、江戸時代以降も松を植えて街道の景観を守り伝えてきているものです。

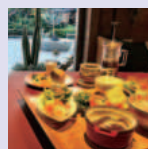
藤枝市岡部町内谷



予約必至!
おしゃれで
おいしい
人気のお店。

51 蔵cafe&dining coconomi

岡部宿大旅籠柏屋の中庭にある古い蔵を改装したダイニングカフェ。地元の食材を使った洋風のランチプレートやパスタなど充実。蔵の雰囲気の中で、岡部の旬の味覚を楽しむことができます。



藤枝市岡部町岡部817(柏屋施設内) ☎ 054-667-5220
ランチ11:30～14:00 カフェ14:00～16:00 ㊥ 月曜、第2第4火曜日、年末年始

藤枝宿



53 藤枝宿の目印として多くの旅人を導いた大慶寺「久遠の松」
藤枝市藤枝4-2-7 ☎ 054-641-1229

Watch!

弥次喜多珍道中



藤枝宿の先にある瀬戸の立場に入った弥次さん喜多さん。名物「染飯」を食べ休んでいたところ、藤枝宿ですれ違いざまにぶつかりケンカになった田舎おやじと再会します。

ケンカのお詫びにと御馳走してもらうつもりが、まんまと一杯食わされ、宴会の支払いをさせられるというなんとも滑稽な顛末となったのです。

人や物、多くの交流を生み出し続けた藤枝宿。それは今でも変わららず、東と西を繋いでいます。

東海道22番目の藤枝宿は、全長約2km、人口は四四〇〇人程で、県内の宿場の中でも大きな宿場町でした。また、赤石山脈や志太平野、そして太平洋につながるこの場所は、古くから山間地からお茶や椎茸、平野から米、海から魚介類など様々な品物が届き、市場としてとても栄えていました。現在でも、徳川家康公が鷹狩りのために度々訪れた「田中城下屋敷」や静岡県天然記念物・久遠の松がある「大慶寺」など藤枝市を代表する歴史的なスポットが数多く残るエリアです。



勇壮な山車の
曳き回しも
大祭の見どころの
ひとつ。

55 鮑波神社大祭の奉納踊り(鮑波神社)

志太平野最古の社。地元では「あくなみさん」と呼ばれ、「藤枝大祭り」が3年に一度、盛大に執り行われます。このお祭りは江戸時代の藤枝宿場町の祭礼にルーツを持つとされ、明治時代以降に現在の形式が定着したといわれています。

藤枝市藤枝5-15-36 ☎ 054-643-2915(鮑波神社)



ここで食べた
鯛の天ぶらが
家康の死因とか!?
(諸説アリ)

54 史跡 田中城下屋敷

駿府城の西の守りとして重要な役割を担っていたほか、徳川家康が鷹狩りの際に度々滞在したと伝えられる田中城は、本丸を中心に4重の同心円を描く、全国的にも珍しい城郭が特徴です。現在は、城主の下屋敷(別荘)跡に本丸櫓などの建物が移築、復元され、見学することができます。

静岡県藤枝市田中3-14-1 ☎ 054-644-3345
9:30~16:30(11月~2月は16:00まで) ㊦ 月曜(祝日の場合は翌平日、
祝日の翌日(土曜、日曜除く)、年末年始(12/26~1/5) ㊧ 無料

56 蓮華寺池公園

市民の憩いの場として親しまれている花と木と鳥をテーマにした総合公園です。園内には200本を超える藤の木が植えられ、藤の名所としても知られています。公園の中心にある蓮華寺池は、江戸時代に農業用水を確保するために築造された人工のため池。絵師司馬江漢が残した「江漢西遊日記」の中には、蓮華寺池の堤にのぼってお酒や菓子を楽しんだ様子が記されており、今も昔も行楽の場所でもあったことがうかがえます。

藤枝市若王子474-1 ☎ 054-643-3487(藤枝市花と緑の課)



ボードで
優雅に
水上散歩も!!



田中城に
納めてたから
間違いない。

58 紅家(弥次喜多まんじゅう)

江戸時代初期より藤枝宿で菓子店を営み、田中城にも菓子を納めていたと伝えられる老舗和菓子店。弥次さん喜多さんをイメージした「弥次喜多まんじゅう」や徳川家康の逸話にちなんだ「長寿柿」はお土産にもおすすめです。

藤枝市藤枝4-1-9 ☎ 054-641-9071 8:30~18:00 ㊦ 水曜



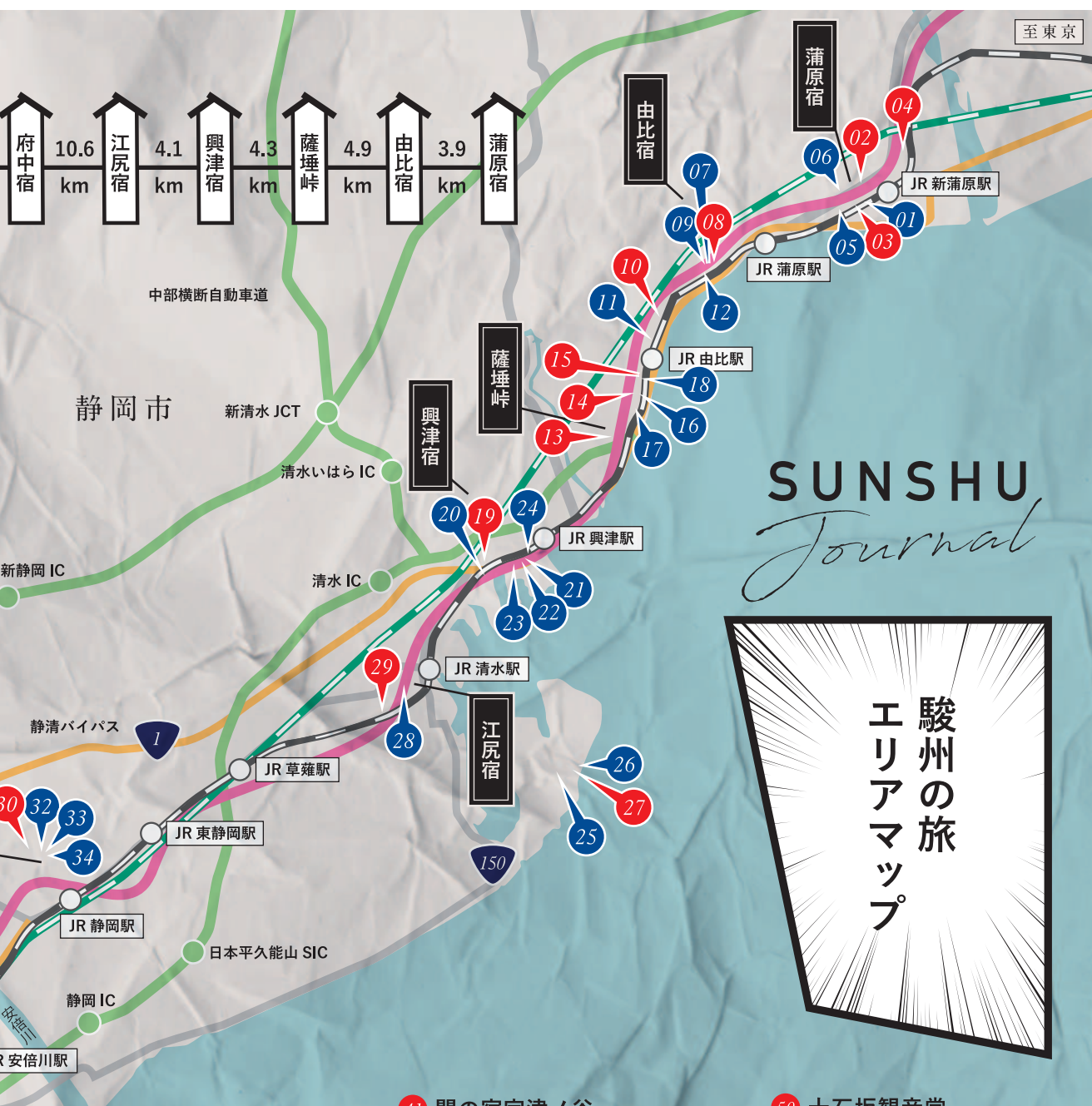
弥次喜多も
食した染飯。
一度
ご賞味あれ。

57 瀬戸の染飯と千貫堤・瀬戸染飯伝承館

「瀬戸の染飯」とは、くちなしの実で黄色に染めたおにぎりのようなもので、藤枝宿の西にあった瀬戸の茶屋で戦国時代から売られていた街道名物です。足腰の疲れに効くとして旅人に評判の食べ物でした。千貫堤・瀬戸染飯伝承館では、染飯と江戸時代に築造された大堤防「千貫堤」に関する資料を展示しています。(染飯は「喜久屋」)



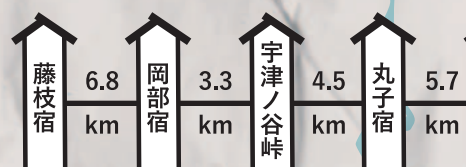
藤枝市下青島1006-3 ☎ 054-646-0050 10:00~15:00 ㊦ 月曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始(12/28~1/4) ㊧ 無料



- | | |
|-----------------------|----------------|
| 41 間の宿宇津ノ谷 | 50 十石坂観音堂 |
| 42 東海道宇津ノ谷峠越 | 51 coconomi |
| 43 鳶の細道 | 52 旧東海道の松並木 |
| 44 慶龍寺と十団子 | 53 大慶寺 久遠の松 |
| 45 明治のトンネル (明治宇津ノ谷隧道) | 54 史跡 田中城下屋敷 |
| 46 十団子ストラップ | 55 飽波神社 |
| 47 あげおかべ | 56 蓮華寺池公園 |
| 48 岡部宿大旅籠柏屋 | 57 千貫堤・瀬戸染飯伝承館 |
| 49 岡部宿内野本陣址 | 58 紅家 |

- 01 蒲原宿本陣跡
- 02 旧和泉屋
- 03 志田邸・東海道町民生活歴史館
- 04 木屋江戸資料館
- 05 旧岩邊邸
- 06 旧五十嵐齒科医院
- 07 由比本陣跡
- 08 静岡市東海道広重美術館
- 09 御幸亭
- 10 由比宿名物 たまご餅
- 11 由比 むつみ市場
- 12 正雪紺屋
- 13 薩埵峠
- 14 間の宿 西倉沢
- 15 東海大名主の館 小池邸
- 16 くらさわや
- 17 望嶽亭藤屋
- 18 由比宿東海道あかりの博物館
- 19 清見寺
- 20 興津坐漁荘

- 21 東海道興津宿 岡屋
- 22 宮様まんぢう 潮屋
- 23 水口屋ギャラリー
- 24 ふなじうしほ屋
- 25 御穂神社・神の道
- 26 みほしるべ
- 27 三保松原
- 28 甘静舎
- 29 江尻宿名物 追分羊かん
- 30 静岡浅間神社
- 31 府中宿名物 安倍川もち
- 32 葵舟
- 33 静岡市歴史博物館
- 34 駿府城公園
- 35 丸子宿名物 とろろ汁
- 36 とろろ汁の丁子屋
- 37 駿府の工房 匠宿
- 38 吐月峰柴屋寺
- 39 月ヶ瀬 本店
- 40 大鉦不動尊



< 各宿場間の距離 >

- …日本遺産構成文化財
- …観光スポットなど
- …旧東海道

藤枝市



スマホで駿州の歴史をリアルタイム追体験



手描きのイラスト地図や古地図に位置情報を表示させて楽しめるサービス「Stroly(ストローリー)」。
日本遺産・駿州の旅でも、江戸時代の絵地図とGoogleマップを連動させ、ストローリー内に江戸時代の
駿州を再現しています。使い方はカンタン。お手持ちのスマートフォンでQRコードを読み込むだけ。
GPS機能で自分の現在地と古地図を見比べることができ、まさに今その瞬間江戸時代にタイムス
リップするような追体験を味わえます。さらに古地図の中に設置されたピンをクリックすると、東海
道中膝栗毛での弥次さん喜多さんのエピソードなどを読むことができます。

江戸時代の面影や弥次さん喜多さんの珍道中と重ね合わせながら、今の駿州を楽しんでみてください。



まずはカンタン！

こちらのQRコードを読み込んでください。

蒲原宿から藤枝宿までの8つのマップに分けて公開しています。
お好きなマップを選んで step 1へ。



step 1

ニックネームとアイコンを選んだら、「はじめる」をタップ。
GPSと連動し、自分の位置を古
地図で確認しながら街歩きがで
きます。



step 2

Googleマップと古地図は切り
替えが可能なので、今いる場所
を昔の姿と照らし合わせたり、
現代に戻ったり。まるでタイム
スリップしているかのよう。



step 3

地図上のピンには史跡や観光施
設が登録されており、スポット
にまつわるエピソードや情報を
すぐに確認することができるの
で、すごく便利！



富士山静岡空港よりバスで約50分



東京駅・名古屋駅から「静岡駅」まで東海道新幹線(ひかり)で約60分



東名高速道路「静岡IC」「日本平久能山SIC」「清水IC」
新東名高速道路「新静岡IC」「新清水IC」「清水いはらIC」



富士山静岡空港よりバスで約30分



静岡駅から「藤枝駅」まで東海道本線で約20分



東名高速道路「焼津IC」より約15分
新東名高速道路「藤枝岡部IC」

観光・宿泊に関する問い合わせ先

藤枝市観光協会

TEL: 054-645-2500

<https://www.fujieda.gr.jp>



(公財)するが企画観光局

TEL: 054-251-5880

<https://www.visit-shizuoka.com>



駿州の旅日本遺産に関する問い合わせ先

駿州の旅日本遺産推進協議会

事務局: 藤枝市 街道・文化課

静岡市 観光政策課

TEL: 054-643-3036

TEL: 054-221-1310



駿州の旅日本遺産
YouTubeチャンネル



SUNSHU *Journal*



Published by 駿州の旅日本遺産推進協議会

事務局：藤枝市 街道・文化課
静岡市 観光政策課

TEL:054-643-3036
TEL:054-221-1310

